

POTENT 試験に参加された患者さんへ

下記の臨床研究を当院の倫理審査委員会の審査を受け、院長の許可を受けて行っています。

本研究の対象者に該当する方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、解析から削除しますので、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。

1.研究課題名	エストロゲン受容体陽性 HER2 陰性乳癌に対する S-1 術後療法・ 長期予後に関する多施設共同観察研究:POTENT 附随研究
2.当院の研究責任者	乳腺内分泌外科 太田大介
3.この研究全体の責任者	京都大学大学院医学研究科 外科学講座 乳腺外科学 戸井雅和
4.本研究の概要・背景・目的	POTENT 試験では、乳がんの手術後に、ホルモン剤だけを内服する場合に比べて、ホルモン剤と S-1 を同時に内服することでがんの再発を抑える割合が向上することが確認できました。本研究では、更に長期での結果を確かめることを目的としています。
5.研究実施期間	研究実施期間:2020年2月26日から2022年3月31日まで データ登録を行う期間:2021年2月1日から2021年7月31日まで
6.対象となる患者さん	POTENT 試験「エストロゲン受容体陽性 HER2 陰性乳癌に対する S-1 術後療法ランダム化比較第Ⅲ相試験」に参加された方
7.研究の方法(使用する情報等)	【利用する情報】 2019年2月1日から2021年1月31日までの診療記録を利用する 【利用する情報の項目:本研究の為カルテより抽出する項目】 ・再発の有無(再発部位、確認日、その方法) ・異時性乳がんや二次がんの有無 ・転帰(生存、死亡、死因) ・再発後の治療内容と期間 ・異時性乳がんや二次がんの治療内容と経過 ・術後内分泌療法の投与期間と服薬状況 ・術後放射線治療の内容と期間
8.情報の他の研究機関への提供および提供方法	多施設共同研究であり、本研究のデータセンターである公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター/データ管理室へ郵送または電子的送信にて提出する。
9.個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
10.本研究の資金源(利益相反)	この研究は京都大学および公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンターが、大鵬薬品工業株式会社から資金提供を受け実施するものです。 利益相反については当院の規則に従って適切に審査・管理します。
11.データの利用に同意されない場合とその申し出の期限	① この研究に関してデータの利用に同意されない場合には下記のお問い合わせ先までご連絡ください。なお、同意されない場合でも診療上の不利益をこうむることはありません。 ② ただし、研究の進捗状況により、情報の利用に同意しない場合でも対応できない場合も生じます。(学会発表後、論文化後等)
12.お問い合わせ先	研究責任医師 所属:乳腺内分泌外科 担当者:太田大介 電話:03-3862-9111 他の研究対象者等の個人情報および知的財産権の保護に支障がない範囲で、研究に関する資料の入手・閲覧が可能ですので、希望される方は窓口までご連絡ください。